

初任運転者に対する安全運転実技指導 実施要項

Safe Driving Practical Training Guidelines for New Drivers

令和7年度の採用実績は**4名**でした。当社では、採用後の職員に対し、関係法令及び社内規程に基づき、業務に必要な知識・技能を習得できるよう計画的な指導教育を実施しています。

主な教育内容は以下のとおりです。

1. 基本方針

当社では、貸切バス運転士として新たに乗務する初任運転者に対し、法令が定める水準を大きく上回る安全運転実技指導を実施しています。単なる運転技術の習得にとどまらず、旅客輸送事業者としての使命感と高い安全意識を兼ね備えた運転士を育成することを目指しています。

すべての指導は、貸切バス運転士として10年以上の豊富な実務経験を持ち、事故歴・違反歴等を厳格に審査した上で運行管理者・安全統括管理者が選任した「添乗指導員」が担当します。実施にあたっては、指導員と運行管理者が対象者の習熟状況・経験・技術レベルを共に確認しながら、最適なカリキュラムを設計します。

2. 実施対象

- 貸切バス運転士として新たに乗務する全ての初任運転者
- 経験あり、なしの中途採用者で、当社の運行環境に不慣れな運転者
- 長期の乗務ブランク後に復帰する運転者

3. 指導時間・実施規模

法令が定める指導時間（座学10時間・実技20時間）を大幅に超える充実した指導を実施しています。実技指導は添乗指導のほか、山道走行・高速走行・狭路・雨天等の多様な条件下でも実施し、実際の運行シナリオに即した実践的な訓練を行います。

- 添乗実技指導：法定20時間以上（対象者の習熟状況により延長）
- 実施時間帯：日中走行に加え、夜間走行も必ず実施
- 気象条件：雪道研修・タイヤチェーン講習を実施
- 車種別指導：大型・中型・小型の各車種に対応

4. 車種区分

対象者の実務経験・習熟状況に応じ、安全統括管理者と添乗指導員が協議の上、適切な車種を選定します。

- 大型車：車両の長さ12メートル
- 中型車：車両の長さ9メートル
- 小型車：車両の長さ8メートル

5. 乗務研修コース

対象者の実務経験と習熟状況に基づき、運行管理者と添乗指導員が最適なコースを選定・組み合わせます。
6種類の実践的な研修コースにより、市街地から高速道路・山道まで、あらゆる運行環境を体験させます。

コース	走行エリア	訓練内容	想定運行シナリオ
コース① (基本操作・市街地走行)	研究学園駅 - 万博記念公園駅 - つくば駅 - 国際会議場および周辺	市街地・点検要領の網羅・車庫入れ・坂道発進・方向転換	研修では、出庫前点検・車両感覚・ミラー確認・左折時の巻き込み確認・停留所への幅寄せなど、基本的な運転操作を確認する。また、駅ロータリーや幹線道路における一般車両・歩行者・自転車への注意、車線変更、信号対応、渋滞時の安全運行など、市街地特有の走行環境への対応を習得する。
コース② (狭路走行)	谷田部商店街 - 東光台エリア - 研究学園エリア - 荃崎・高崎十字路周辺エリア	狭路走行	狭路走行を中心とした研修を実施する。研修では、住宅街や商店街における車幅感覚、左折・右折時の内輪差確認、対向車との離合、狭隘道路での徐行走行など、狭路特有の運転操作を確認する。また、路上駐車車両、自転車、歩行者、生活道路からの飛び出しを想定し、安全確認および危険予測を重点的に指導。特に、谷田部商店街周辺や荃崎・高崎十字路周辺では道幅が狭い箇所や見通しの悪い交差点があるため、速度抑制・早めの停止判断・適切な離合位置の選定について実践形式で研修を行う。
コース③ (つくばみらい・取手・牛久ルート)	R354・県道 133 新井木～R294 - 石下 - 旧 294 - ふれあい道路 - 新守谷駅 - TX 守谷駅 - 取手駅 - R6 牛久駅 - ひたちのうしく駅	幹線道路・狭路走行	国道・県道における車線変更、右左折時の安全確認、車間距離保持、速度管理など、幹線道路で必要となる基本操作を確認する。旧 294 や駅周辺道路では、狭隘箇所における車幅感覚、対向車との離合、内輪差確認、住宅地走行時の徐行運転など、狭路特有の運転操作を重点的に指導。特に、交通量の多い交差点や駅ロータリーでは、歩行者・自転車・一般送迎車両への注意、安全確認の徹底、急操作防止について実践形式で研修を行う。
コース④ (筑西・桜川ルート)	つくば市街 - R408・R125 - 道の駅しもつま - 県西営業所 - 県道 14 - 明野 - R50 新治 - 桜川ロードパーク・県道 41	市街地・幹線道路	研修では、市街地における信号対応、交差点進入、右左折時の安全確認、歩行者・自転車への注意など、基本的な営業運転操作を確認する。また、R408・R125・R50 などの幹線道路では、車間距離保持、速度管理、車線変更、渋滞時対応など、安全かつ安定した走行を重点的に指導する。加えて、交通量の変化や大型車両の往来を想定し、危険予測、安全確認の徹底、急加速・急ブレーキ防止について実践形式で研修を行う。

コース⑤ (土浦・稲敷ルート)	石岡駅 - 土浦駅東口 - R125 光と風の丘公園 - 県道 68 - たつのこアリーナ - 龍ヶ崎市街 - R6	市街地	駅周辺や主要道路における信号対応、交差点進入、右左折時の安全確認、停留所進入時の減速および幅寄せなど、基本的な営業運転操作を確認する。 また、交通量の多い市街地走行を通じて、歩行者・自転車・一般車両への注意、車線変更、渋滞時対応、危険予測について重点的に指導する。 特に、駅ロータリーや商業施設周辺では徐行運転と安全確認を徹底し、急操作防止および円滑な乗降対応について実践形式で研修を行う。
コース⑥ (山道走行)	筑波山 - 旧 355 笠間 - 岩瀬・真壁	市街地・山道走行	研修では、上り坂・下り坂における適切な速度管理、エンジブレキの使用、カーブ進入時の減速、安全な走行ラインの確保など、山道特有の運転操作を確認する。また、見通しの悪いカーブや狭隘箇所を想定し、対向車対応、路肩確認、危険予測、安全確認の徹底について重点的に指導する。特に、長い下り坂やトンネル区間では、ブレーキ過熱防止、車間距離保持、ライト使用など、安全運行を意識した実践形式の研修を行う。
コース⑦ (高速走行)	桜土浦 IC - 本線合流・各 PA 停車 - 友部 JCT - 茨城町東 IC - 県道 16 - 茨城町西 - 友部 SA - 岩間 IC - 愛宕山	高速道路・山道走行	研修では、高速道路への本線合流、加速車線の使用法、車間距離保持、走行車線維持、速度管理など、高速走行時に必要となる基本操作を確認する。また、PA・SA への進入および発進、分岐や JCT 通過時の進路確認、風の影響や大型車両との並走時の注意点について重点的に指導する。特に、長距離走行時の危険予測、安全確認の徹底、急ハンドル・急ブレーキ防止など、安定した高速運行を意識した実践形式の研修を行う。

※ 乗務研修では夜間走行を必ず含めて実施します。

また、状況により可能であれば雨天時の走行も実施し、実際の悪条件での運転技術向上を図ります。

6. 添乗指導員の選任基準

当社では、添乗指導員の質が安全運転指導の成否を左右するものと考え、以下の厳格な基準のもとで選任しています。

- ・ 貸切バス運転士として 10 年以上の実務経験を有すること
- ・ 事故歴、違反歴等の運転経歴を厳格に審査し、模範となりうる者であること
- ・ 運行管理者、安全統括管理者が協議の上で承認
- ・ 指導力、コミュニケーション能力が高く、運転者の特性に応じた指導が行えること

7. 年間教育・指導計画

初任時の実技指導に加え、全乗務員を対象とした年間教育計画のもと、安全運転技術と意識を継続的に向上させています。法令に基づく13項目の指導内容を年間通じて網羅し、実車訓練・外部研修・講義・映像教育等を組み合わせた多角的な教育を実施しています。

実施期	教育項目	主な指導内容	実施施策
4～6月	①事業用自動車を運転する場合の心構え ②運行の安全・旅客の安全確保のための遵守事項 ③事業用自動車の構造上の特性の把握	・旅客輸送の社会的使命と模範運転者としての責任の自覚・道路運送法に基づく遵守事項と安全な運転方法の理解・運行指示書の厳守・車高・視野・死角・内輪差・制動距離等の特性把握	・春の交通安全運動・厳正な点呼の実施（アルコール検査）・免許証確認・制服徹底・マナー研修・事件事例学習・実車研修・冷房装置点検
7～9月	①乗車中の旅客の安全確保 ②旅客乗降時の安全確保 ③運転者の運転適性に応じた安全運転	・急操作による旅客転倒防止の実例学習・シートベルト着用案内・乗降口扉の適切な操作・路上乗降時の安全確保手順・適性診断の結果を踏まえた個別指導	・夏・秋の交通安全運動・車内事故実例学習・シートベルトアナウンス練習・運転適性診断と運転記録証明による指導・スキルアップ研修・安全運転センター研修
10～12月	①主要運行経路・道路・交通状況の把握 ②危険の予測・回避及び緊急時対応 ③健康管理の重要性 ④先進安全装置の適切な運転方法	・運行経路の事前把握と危険箇所確認・悪天候（強風・豪雪等）が運転に与える影響の理解・指差呼称による危険予測習慣の体得・緊急時の制動装置操作技能（実車使用）・ASV装置等の正しい活用方法・疾病リスクと健康診断受診の徹底	・配車場所の完全把握・後退誘導の徹底・交差点での指差呼称・先進安全装置の実車研修・年末年始輸送安全総点検・健康診断完全受診・生活習慣病改善の個別指導
1～3月	①ドライブレコーダーを活用したヒヤリ・ハット共有 ②個別フィードバック ③冬季道路における安全運転 ④運転者の生理的・心理的要因と対処方法 ⑤緊急事態対応（救急救命等）	・ドライブレコーダー映像による運転特性の個別フィードバック・冬季車両の扱い・タイヤチェーン脱着・雪道走行訓練・過労・飲酒・心理的要因が事故につながる実例学習・AED操作・非常口・消火器等の緊急対応実習・バスジャック等異常事態への対応訓練・急ブレーキ訓練	・ドライブレコーダーの活用・タイヤチェーン脱着訓練・冬季道路走行訓練・飲酒運転・過労運転防止研修・応急用具・非常用信号の取扱説明・非常ブレーキ、急ブレーキ

8. 安全運転実技チェック項目

添乗実技指導では、「安全運転の実技チェックシート」に基づき、以下の項目を網羅的に確認・評価・フィードバックします。運転者一人ひとりの課題を明確化し、改善に向けた具体的な指導を行います。

分類	指導項目	主なチェックポイント
発進時	始動・合図・安全確認	ハンドルを握ってエンジン始動／発進前のウinker確認／周

		囲の安全確認／急発進・エンストの有無
走行時	速度・車間・歩行者・車線変更	法定速度の遵守／適切な車間距離の確保／歩行者・自転車との側方間隔の確保／車線変更時の合図と確認
交差点	進入・右左折・信号	黄信号での停止原則の遵守／交差点手前での減速／30m 前のウインカー操作／左後方・右後方の安全確認／リアオーバーハング確認
操作技術	ハンドル・ブレーキ・クラッチ・カーブ	両手ハンドル操作の確認（内掛け禁止）／不必要な急ブレーキの有無／エンジンプレーキの活用／カーブ手前での適切な減速
特殊状況	高速・夜間・雨天・山道・踏切	高速本線への安全な合流／早めのライト点灯・ハイビームの適切な使用／水たまり回避と速度抑制／山岳路での適切なギア選択とエンジンプレーキ活用／踏切での一時停止と警報機確認
停車・後退	停車位置・ドア操作・後退確認	道路に平行な停車位置の確保／車が完全に止まってからのドア開閉／後退前の周囲確認・サイドミラー活用・窓を開けての目視確認

9. 継続的な安全確保の取り組み

■ ドライブレコーダーの活用

- ・全車両にドライブレコーダーを搭載し、運転挙動データを定期的に安全活用
- ・ヒヤリハット映像を全乗務員で共有し、危険予測能力の向上を図る
- ・個々の運転特性に基づく個別フィードバックを実施

■ 適性診断と健康管理

- ・定期的な適性診断の実施と、その結果に基づく個別指導
- ・健康診断の受診徹底と、生活習慣病改善に向けたサポート
- ・疾病リスクが交通事故に与える影響について継続的に教育

■ 外部機関との連携

- ・安全運転センターによる専門研修への参加
- ・交通安全運動（春・夏・秋・年末年始）に合わせた重点指導の実施
- ・業界団体、行政機関と連携した最新の安全情報の共有

10. 安全運転指導に関する基本姿勢

常南交通株式会社は、「安全を最優先する」という行動基準のもと、初任運転者への徹底した実技指導を通じて、旅客輸送の安全・安心を確保するための人材育成に取り組んでいます。法令遵守にとどまらず、常に高い水準の安全運転教育を追求し、お客様・社員・社会から信頼されるバス会社であり続けることを誓います。